

電設健保組合	保健事業カルテ
事業名	特定保健指導
背景	職種や勤務形態が異なる。被保険者の83.02%は男性、約61.49%が40歳以上で平均年齢は43.95歳
対応する健康課題	生活習慣病リスク保有者の割合が高い。(特に肥満リスク、肝機能リスク、脂質リスク、血糖リスク) 喫煙率(被保険者約33%:R2年度)や運動習慣のない割合がやや高めなことが原因としても考えられる。
事業目標	生活習慣病の予防と改善。特定保健指導の実施率(現在約12.2%:R3年度)の向上に努め、全国平均(約30%)を目指す。

2021年度

	対象者	方法	体制
2021年度の実施内容	特定保健指導対象者	案内発送、電話による受診勧奨、事業主への協力依頼(コラボヘルス)、特定事業所に対し外部委託業者が実施(コラボヘルス) 遠隔面接の促進	健診結果に案内同封 事業所担当者宛に対象者一覧を送付(直営以外) 健診当日での面接:コロナのため中止だったがR3.8月から再開 委託業者:希望先にタブレットを郵送し、Web面接を行う

指標No.	評価指標	目標値						実績値					
		2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
アウトカム指標 (成果を測る指標)	1 内臓脂肪症候群該当者割合			19.2%	19.0%	18.9%	18.8%	18.7%	19.4%	21.6%	21.1%		
	2 被保険者喫煙率	32.5%	30.5%	30.5%	26.5%	26.5%		33.9%	33.0%	32.5%			
	3 特定保健指導対象者数(前年度-今年度)							393名	412名	292名	-481名		

対応する指標No.	分類	やり方の工夫	工夫をした理由	良かった点・苦労した点
アウトカムを上げる工夫	1.2.3 a.意識付け	メールや手紙での丁寧な説明、指導 相手に無理なく続けられるような目標を立てる	生活習慣の特徴から改善策を見出し、意識づける(行動変容) 達成しやすいことから始めるように指導し改善した点をほめる	支援レベルが変わった(積極→動機) 保健指導終了後にリバンドしてしまう
	1.2.3 c.継続支援	相手に合わせたメールや手紙での丁寧な指導	保健師、管理栄養士より、改善意識が途切れず指導が途中終了しないよう定期的に連絡(初回面接後は2週間後、以降は月1回)最新の情報を取り入れた資料の提供	本人の意識によるところが大きく、また、強制力もないため指導が途中終了となり継続率が悪い
	1.2.3 e.その他	事業主とコラボヘルス	健康経営に取り組み事業所に依頼、事業主、事業所担当者、健保が連携し取り組む	保健指導は強制力がないため、苦情を言われることもある

指標No.	評価指標	目標値						実績値					
		2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)
アウトプット指標 (実施率を測る指標)	1 特定保健指導実施率	14.0%	18.0%	11.0%	11.0%	11.5%	12.0%	12.0%	12.1%	8.1%	12.2%		

対応する指標No.	分類	やり方の工夫	工夫をした理由	良かった点・苦労した点	
アウトプットを上げる工夫	1 b.勧奨	①一部の事業主に連絡先の収集等協力を依頼 ②直営健診センター:健診当日階層化し、健診終了直後に声掛け 前年度対象者のリスト化は効率および効果を高める有用なノウハウです。	①保健指導委託先専門スタッフによる電話での説明や参加勧奨 ②前年度対象者をリスト化し今年度該当した場合に参加を促す 【直営】前年度対象者をリスト化し、血液検査、階層化を優先、結果が出て健診終了した方を、受付が管理栄養士へ連絡し、対象者を保健指導に案内する。 【事業所とのコラボ】事業所担当者を通じ、保健指導の当日面接の了解を得、優先的に案内をしている	コロナの関係で、当日診察、面接が中止となった期間がある ①専門スタッフが直接連絡し説明、勧奨できた ②強制力がないため拒否されてしまう	
	1 c.環境整備	①一部の事業所へ外部委託業者からタブレットを送付しWeb面接を実施 ②直営健診センター:Web面接の開始	①希望の送付先にタブレットを郵送 ②対面面接ができないため、Web面接の設備を整えた	①全事業所には対応できない コロナ禍で対面面接できなくても実施できた ②当日面接できなくても、後日来所せずに希望日時に面接ができる	
	1 d.参加支援	専門スタッフによる直接の連絡 勤務時間外での対応	専門スタッフによる定期的な連絡 委託先は、土日祝日朝9時から19時(受付18時)まで対応し、勤務時間外に指導を受けられる		
	1 e.その他	事業主とコラボヘルス	対象者や保健指導の進捗情報を共有することで双方からの声掛けができる 健康経営に取り組み事業所に依頼している		担当者の負担はあるが事業所を交えることで、受診率の向上につながった

評価指標の設定、実績値についてのコメント

[健康課題の抽出と事業目標の明確化]
・健康課題が具体的に明示されており、事業の工夫の検討につながります。

[評価指標(目標値)の設定と実績]
・内臓脂肪症候群該当者割合や喫煙率といったアウトカム指標が設定されているのは素晴らしいです。なお、この事業の成果を測る場合は、被保険者全体の喫煙率ではなく、特定保健指導の終了者の喫煙率を指標としても良いです。
・実施率に関しては、事業所による高低の差を可視化することで、格差の是正策や重点事業所を検討することも考えられます。

工夫についてのコメント

[アウトカムを上げる知見]
・生活習慣の特徴に応じた働きかけやそのタイミングなど、特定保健指導のアウトカムを上げるノウハウは健保に蓄積・共有すると有用です。

[アウトプットを上げる知見]
・前年度対象者のリスト化および健診当日の働きかけは素晴らしい保健事業の工夫です。
・事業主との連携では、健康経営に取組むなど意識が高い事業所から始めていることは良いポイントです。また、対象者一覧や特定保健指導の進捗状況を事業所担当者に提供することで、事業所のアクションを促すことが考えられます。
・特定保健指導を受けて良かった声を参加者、事業所から集めて共有することも一手です。